

はじめてのクラシック

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC

イラスト:IKE/文:松井治伸

祖国とあの人の想いがふわりと香る
フレデリック・フランソワ・ショパン
Frédéric François Chopin (1810-1849)

C

2025 DECEMBER
[第2053回]



ショパンは、『ピアノ協奏曲第2番』の〈第2楽章〉を「理想の人のことを思って作曲した」と親友への手紙に書いています。19歳の彼は、思いを寄せる女性に出会ったのです。たしかに、この曲の甘く美しいメロディは、好きになった人の面影を夢見るロマンチックな気分そのもの。親友への手紙のなかに、肝心のその人の名前は書かれていません。恋こがれた「理想の人」への想いは結局成就することなく、その後ショパンはワルシャワからウィーンへと旅立ちます。《ピアノ協奏曲第2番》は、いわば故郷での青春のまっただ中で生まれた作品でした。